

銀山温泉

銀山温泉は、複数階建て以上の伝統的な旅館が並ぶ温泉地です。旅館には、白いしっくい壁、カラフルな鰻絵（しっくいを使った浮き彫り）、木の外装、といった特徴があります。これらの旅館は、大正時代（1912～1926年）を思い起こさせます。町の歴史は、1600年ごろにまでさかのぼります。当時は、延沢銀山（「銀鉱」）として栄えていました。1600年代なかばの最盛期の延沢銀山は、日本三大銀山のひとつでした。しかし、銀鉱は1689年までに完全に掘りつくされてしまいました。温泉が発見され、鉱業がなくなると、延沢銀山はリゾート地として発展しました。

浴衣（軽い綿の着物）で通りを歩き、公共の足湯に足をひたしつつ、雰囲気を楽しみましょう。お店で地元の特産品を見て回り、白銀の滝のしぶきで元気を取り戻し、ガス灯で照らされる夜の町並みの静けさを感じてください。